

ま ち の 話 題

豊岡

子育てセンターまつり
楽しさいっぱい
笑顔満開

6月30日、市内6カ所の子育てセンターと各地域の子育て支援団体などによる「豊岡市子育てセンターまつり」が総合体育館で開催されました。

当日は、約1,500人の親子や、おじいちゃん、おばあちゃんが、各コーナー遊びや運動遊び、子育てグループによる人形劇のミニ発表会を楽しみました。

また、警察署や消防署の協力により「乗り物ひろば」が設置され、パトカーや白バイの乗車体験やレスキュー体験、ミニ消防士に変身しての放水体験などにも挑戦し、参加した子どもたちは真剣に取り組んでいました。



▲本番さながらの放水体験に真剣なまなざし

城崎

城崎 プロジェクトC・DXを実施

わがまち城崎をきれいに

7月9日、城崎温泉街をきれいにするため、城崎中学校主催による環境美化活動「プロジェクトC・DX」が実施されました。

同活動の「C」はClean（クリーン）、「Community」（コミュニティ）の頭文字で、清掃活動を通じて地域住民とのふれ合いを目的として続け、今年で3年目となります。

当日は、城崎中学校の全生徒約110人と城崎小学校5・6年生、城崎町商工会、城崎温泉観光協会などの約140人が一緒に、大谿川沿い約2.5キロメートルの清掃活動を行い、たばこの吸い殻を拾ったり、草抜きや灯籠の水拭きに汗を流していました。



▲大谿川沿いを中心に自分たちの手で清掃する城崎中学校の生徒たち

竹野

使用済み天ぷら油回収事業
私たちにできることから

7月1日、竹野地域で使用済み天ぷら油の回収事業が開始されました。

この事業は、竹野ふるさと創生協会が会員に呼びかけ、各家庭で処分困る使用済み天ぷら油を回収し、バイオディーゼル燃料として再利用するものです。

回収を前に同協会長の布堅作さんが「地域の環境のため、私たちにできることから始めたい。多くの人に理解してもらい、協力してほしい」と話しました。

早速、会員が持ち寄った使用済み天ぷら油を回収ボックスの中へ入れ、地域による取組の第一歩が踏み出されました。



▲使用済み天ぷら油を持ち寄り、回収ボックスの中へ入れる会員たち

まちの情報などがありましたら、秘書広報課広報広聴係まで連絡ください。



▲コンサートを聴きながら猪鍋に舌つづみ

7月8日、日高町羽尻地区の湯の原温泉オートキャンプ場で、オープン10周年を記念したイベントが開催されました。

日高西中学校吹奏楽部による演奏や姉妹デュオ歌手「みずばしう」のふれあいコンサート、景品付きもちまきなどのほか、大鍋3杯分用意された猪鍋は無料で振舞われ、来場者に大好評でした。

また、同キャンプ場温泉施設の露天風呂は、平成16年の台風23号で全壊するなどの被害を受けましたが、今年4月によりやく復旧し、営業を再開しました。この日は、復興への感謝の意を込めて温泉施設を無料開放し、キャンプに訪れた方々に喜ばれていました。

日高

緑に囲まれて猪鍋はいかが

湯の原温泉オートキャンプ場
10周年記念イベント

出石

すこいぞ ジャガイモたくさん



▲夢中になってジャガイモ掘りをする子どもたち

6月27日、弘道小学校1・2年生の児童71人が、細見地区で農作物収穫体験をしました。農作物収穫体験は、地域で取り組んでいる「地産地消学校給食推進事業」の一環として行われたもので、出石地域の各小学校では、ほぼ毎年行っています。

この日、子どもたちは、竹村國男さん（暮坂）が丹精込めて育てたジャガイモ畑に長靴、軍手姿で入り、次々にジャガイモを掘り出していきました。

大きなジャガイモを掘り出した小田理人くん（1年）は、「大きいのがカゴいっぱい採れたから楽しかった」と両手いっぱいにはジャガイモを抱え、笑顔で見せてくれました。

但東

カップに向かって 芝生をコロコロ…

但東シルクロードフィールドゴルフ大会

7月1日、第20回兵庫県知事杯争奪・但東シルクロードフィールドゴルフ大会が但東やまびこフィールドゴルフ場で開催されました。当日は、市内外から20チーム80人が参加し、自然に囲まれたコースを4人1組でまわり、山の斜面を打ち上げたり打ち下ろしたりと打数を数えながらプレーしました。

但東町フィールドゴルフ協会長の堀江勝美さん（但東町矢根）は「楽しくプレーできました。誰でも手軽に楽しめるスポーツなので交流の場としてPRしたい」と話していました。優勝は稲荷会Dチーム（京都府与謝野町）でスコアは規定数288に対し254のレベルの高い成績でした。



▲大自然に囲まれた中、フィールドゴルフを楽しむ参加選手たち